

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330131028	専門演習A Expert Exercise A	長拓実・高田由基			1	必修	3前期
<b>科目の概要</b>							
この科目はDP1.3.5に記載されている、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かす専門的知識・技能の獲得および自己の潜在能力を開発し、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる人材を育成する科目として設定されている。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭として働くにあたり、就職への見通しを立てて自らの進路決定に向けた方策を見つける。そして、自身の興味・関心を深めるための卒業論文執筆に向けた準備を行い、データの読み取り方やデータ収集方法について学ぶ。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 就職先の情報を収集し、自分が取り組むべき事柄を理解する。 ② 就職に関する資料をもとに発表資料を作成し、発表する。 ③ 論文に記載されたデータを理解する。 ④ 質問紙調査を実施し、その結果および考察をまとめる。				① 就職先の情報を収集し、自分が取り組むべき事柄を判断できる。 ② 就職に関する資料をもとに作成した発表資料を用いて発表することができる。 ③ 論文に記載されたデータを理解することができる。 ④ 実施した質問紙調査の結果および考察をもとに、報告書を作成することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。					
	働きかけ力	周囲の人の能力を尊重し、協力を呼びかけるなど積極的に協働することができる。					
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	目標達成のための優先順位を考えて、計画案を作成することができる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現できる。					
	傾聴力	他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	多角的にものごとを捉えることで、場面に応じた適切な行動をとることができる。					
	状況把握力	自分の立場や役割を理解し、周囲の状況に応じた適切な行動をとることができる。					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗や困難を自己成長のチャンスと受け止め、前向きな態度で行動できる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
適宜、プリントを配布する							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他教科との関連:「専門演習A」は学科共通コア科目として設定されており、基礎演習で獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「専門演習B」の基礎となる科目である。 関連する資格:保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理する。 ・社会人基礎力についての振り返りを行うため、学泉ノートを持参する。				出欠席については、本学の規定に基づいて判断します。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		60	①	✓	作成した質問紙をもとに調査を行い、そこから得られた結果および考察を記載した報告書の評価する。（長：30点）
					②	✓	
					③	✓	与えられた課題やテーマに対して、授業で獲得した知識を踏まえて、自分の考えを適切に述べられているかを評価します。（高田：30点）
					④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	作成した報告書をグループで発表する。その際、振り返りのために記入するPCRシートを評価する。（長：15点）		
			②	✓			
			③	✓	授業で獲得した知識を踏まえて、自分またはグループの学修の成果を発表できているか評価します。またはそれをPCRシートで評価します。（高田：15点）		
			④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：予習や復習を行い、自ら主体性をもって学ぶことができる 実行力：自分の将来にむけて真剣に考えることができる 課題発見力：様々な視点から課題をとらえることができる。 創造力：自らの意見を出しながら、グループ活動に参加することができる。 発信力：意見を述べたり、発表したりできる。 傾聴力：話を聴いたり、メモを取ったりして学ぶ姿勢ができています。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。また、授業が円滑に進むよう協力態勢をもち、社会人としてのマナーを身につける。 働きかけ力：グループのメンバーに自身の活動アイデアを伝え、よりよいパフォーマンスができるように話し合うことができる。 計画力：様々な授業の活動の計画を綿密に立て、練習を重ねながら実践力等の質を向上させることができる。 柔軟性：グループ内で活動の練習する中で、園児や児童の様々な実態を考慮しながら、計画の練直し等ができる。 状況把握力：グループ活動のとき等に人的・物的環境等を瞬時に把握し、考慮して、活動の微調整ができる。 ストレスコントロール：相手の真意を測りながら、言動をコントロールできる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>【長】</p> <p>S：論文に記載されたデータについて十分な理解をもとに解釈することができる。そして、調査目的が大変明確である質問紙調査を作成し、データを収集することができる。また、得られたデータを適切に処理し、明瞭な言葉を用いて結果および考察を記述し、報告書を作成することができる。作成した報告書をグループのメンバーに対し、大変分かりやすい言葉を用いて説明することができる。</p> <p>A：論文に記載されたデータについて適切な理解をもとに解釈することができる。そして、調査目的がある程度明確である質問紙調査を作成し、データを収集することができる。また、得られたデータを適切に処理し、明瞭な言葉を用いて結果および考察を記述し、報告書を作成することができる。作成した報告書をグループのメンバーに対し、分かりやすい言葉を用いて説明することができる。</p> <p>【高田】</p> <p>S：出席状況がよく学修内容を踏まえて、自身の実習や卒業研究についての見通しをもち計画を立てることができる。主体的に授業に参加し、獲得した知識と自身の考えを生かして、他者と協働しながら課題解決していくことができる。</p> <p>A：出席状況がよく学修内容を踏まえて、自身の実習や卒業研究についての見通しをもち計画を立てることができる。授業で獲得した知識と自身の考えを生かして課題解決していくことができる。</p>	<p>【長】</p> <p>B：論文に記載されたデータについて理解することができる。そして、調査目的を設定した上で質問紙調査を作成し、データを収集することができる。また、得られたデータを処理し、自身の言葉を用いて結果および考察を記述し、報告書を作成することができる。作成した報告書をグループのメンバーに対し、説明することができる。</p> <p>C：論文に記載されたデータについて理解することができる。そして、質問紙調査を作成し、データを収集することができる。また、得られたデータを処理し、自身の言葉を用いて結果および考察を記述し、報告書を作成することができる。作成した報告書をグループのメンバーに対し、説明することができる。</p> <p>【高田】</p> <p>B：学修内容を踏まえて、自身の実習や卒業研究についての考えることができる。授業で獲得した知識と自身の考えを生かして課題解決していくことができる。</p> <p>C：学修内容を踏まえて、自身の実習や卒業研究についての考えることができる。授業で獲得した知識について理解し、説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 大学生生活後半について (高田)	・講義	授業の目的と内容について理解できる。	(予習) 学泉ノートに目を通す (復習) 15回に渡って育む社会人基礎力について考える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	実習の心得① (高田)	・講義 ・グループワーク ・個人ワーク ・ディスカッション	保育実習を振り返り反省・考察を加え次回実習の施設実習に活かすことができる。	(予習) 実習をさせていただく立場であることを自覚し、指導力について考える (復習) レポート等の作成	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	実習の心得② (高田)	・講義 ・グループワーク ・演習 ・小テスト(google formsでのフィードバック)	基本的なあいさつとお辞儀、敬語の使い分けを適切に判断することができる。 また、電話、FAX、Eメールや名刺交換での対応を適切に判断することができる。	(予習) 社会人として基本的に身に付けておかなければならないことについて書かれた本に目を通す (復習) 基本的なあいさつとお辞儀の使い分け、敬語の使い分けができるようにイメージトレーニングを行う	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	卒業論文について (高田)	・講義 ・グループワーク ・個人ワーク ・レポート(google classroom)	施設実習における指導案・記録について理解し課題を提出することができる。	(予習) 社会人として基本的に身に付けておかなければならないことについて書かれた本に目を通す (復習) 指導案・記録についてレポートにまとめる	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	論文に触れる (長)	・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	論文の構成を知り、論文を読むことでどのような情報を得られるか理解することができる。	(予習) 配信される論文を読んでくる。 (復習) 自身が興味を持ちダウンロードした論文を読む。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	研究方法(量的研究・質的研究) (長)	・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	様々な研究の方法のうち、量的研究と質的研究の違いについて理解することができる。	(予習) 配信される2種類の論文(量的研究・質的研究)を読む。 (復習) 比較的読みやすい質的研究の論文を検索し読む。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	データの読み取り・作成 (長)	・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	量的研究の論文で用いられる平均値・標準偏差・有意差といった、統計情報の基本的な読み取り方を知る。	(予習) 統計に関する資料を読む。 (復習) 今まで読んできた論文の統計情報を調べる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	質問紙調査の作成方法 (長)	・講義 ・個人ワーク	質問紙調査を作成することができる。	(予習) 自分が調査をしてみたいテーマや質問を考えてくる。 (復習) 調査対象に対して質問紙調査を実施する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	就職に関する資料収集 (高田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> <li>・個人ワーク</li> </ul>	保育及び小学校教育の内容から見つけ出した疑問や問題点、調査したことを発表することができる	(予習) 子どもに関わる問題について考える (復習) 保育及び小学校教育の内容 についての疑問 これまでに学んだ保育及び小学校教育の内容から疑問点をノートに整理する	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	発表資料作り①(原稿) (高田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> <li>・個人ワーク</li> </ul>	保育及び小学校教育の内容から見つけ出した疑問や問題点、調査したことを発表することができる	(予習) 子どもに関わる問題について考える (復習) 保育及び小学校教育の内容 についての疑問 これまでに学んだ保育及び小学校教育の内容から疑問点をノートに整理する	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	発表資料作り②(スライド) (高田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・レポート</li> </ul>	保育及び小学校教育の内容に対する疑問から研究対象を考え、決定し考察を加え調査結果についてレポートにまとめることができる	(予習) 子どもに関わる問題について考える (復習) 保育及び小学校教育の内容 についての疑問 これまでに学んだ保育及び小学校教育の内容から疑問点をノートに整理する	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	発表 (高田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・レポート</li> </ul>	保育及び小学校教育の内容に対する疑問から研究対象を考え、決定し考察を加え調査結果についてレポートにまとめることができる	(予習) 子どもに関わる問題について考える (復習) 保育及び小学校教育の内容 についての疑問 これまでに学んだ保育及び小学校教育の内容から疑問点をノートに整理する	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	質問紙調査結果の報告書作成 (長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> <li>・個人ワーク</li> </ul>	実施した質問紙調査の結果をまとめる。	(予習) 質問紙調査のデータ収集を行う。 (復習) 発表原稿を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	グループ発表 (長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> <li>・個人ワーク</li> </ul>	自身が作成した報告書をグループのメンバーに発表することができる。	(予習) 発表原稿を作成し、リハーサルをする。 (復習) グループのメンバーからもらった評価シートをもとに、自身の振り返りを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	オンデマンド：幼稚園実習経験者の話 (長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴</li> </ul>	動画を視聴し、学んだことや今後の活動に生かせることをまとめる。	(予習) 幼稚園教諭実習経験者が事前に作成する資料を閲覧する。 (復習) 幼稚園教諭実習経験者に質問したい内容を考え、Google Formsに記入する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330132029	専門演習B Expert Exercise B	長拓実・高田由基		専門	1	必修	3後期
<b>科目の概要</b>							
この科目はDP1.3.5に記載されている、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かす専門的知識・技能の獲得および自己の潜在能力を開発し、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる人材を育成する科目として設定されている。論文を読むことで保育士、幼稚園教諭、小学校教諭として働くにあたり必要とされる知識・技能を深める。そして、自身の興味・関心を深めるための卒業論文執筆に向けた準備を行い、アカデミックライティングの基礎を身に付ける。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 先行研究として論文や文献の探し方や読み取り方を理解する。 ② 論文の内容を理解し、他者に伝える。 ③ レポートの書き方について理解する。 ④ 作成したレポートを発表する。				① 先行研究として論文や文献の探し方や読み取り方を理解し、その内容を考察することができる。 ② 論文の内容を理解し、他者に伝えることができる。 ③ レポートの書き方について理解することができる。 ④ 作成したレポートを発表することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	予習や復習を行い、自ら主体性をもって学び続けることができる。					
	働きかけ力	働きかけ力：協力を呼びかけるなど積極的に協働することができる。					
	実行力	論文や文献を探し、読むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	卒業研究としてやりたいことは何か、テーマを考えることができる。					
	計画力	卒業研究のための、計画案を作成することができる。					
	創造力	卒業研究のテーマを自ら考えることができる。					
チームで働く力	発信力	意見を述べたり、発表したりできる。					
	傾聴力	話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができています。					
	柔軟性	場面に応じ柔軟な（適切な）行動をとることができる。					
	状況把握力	周囲の状況に応じた適切な行動をとることができる。					
	規律性	グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗や困難を自己成長のチャンスと受け止め、前向きな態度で行動できる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
適宜資料配布 卒論・修論のためのアンケート調査と統計処理（東京図書）							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他教科との関連：「専門演習B」は学科共通コア科目として設定されており、基礎演習や専門演習Aで獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「専門演習C」の基礎となる科目である。							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理する。 ・社会人基礎力についての振り返りを行うため、学泉ノートを持参する。				出欠席については、本学の規定に基づいて判断する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
		レポート	60	①	✓		作成したレポートを評価する（長：30点）
				②	✓		・与えられた課題やテーマに対して、授業で獲得した知識を踏まえて、自分の考えを適切に述べられているかを評価する。（高田：30点）
③				✓			
④				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓		作成したレポートをグループで発表する。その際、振り返りのために記入するPCRシートを評価する。（長：15点）	
			②	✓			
	③		✓		授業で獲得した知識を踏まえて、自分またはグループの学修の成果を発表できているかを評価する。またはそれをPCRシートで評価する。（高田：15点）		
	④		✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		主体性：予習や復習を行い、自ら主体性をもって学び続けることができる。 働きかけ力：協力を呼びかけるなど積極的に協働することができる。 実行力：論文や文献を探し、読むことができる。 課題発見力：卒業研究としてやりたいことは何か、テーマを考えることができる。 計画力：卒業研究のための、計画案を作成することができる。 創造力：卒業研究のテーマを自ら考えることができる。 発信力：意見を述べたり、発表したりできる。 傾聴力：話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができていく。 柔軟性：場面に応じ柔軟な（適切な）行動をとることができる。 状況把握力：周囲の状況に応じた適切な行動をとることができる。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 ストレスコントロール力：失敗や困難を自己成長のチャンスと受け止め、前向きな態度で行動できる。	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>【長】</p> <p>S：授業内で説明したアカデミックライティングのルールに完全に則ってレポートを作成している。レポートを発表する際に、大変分かりやすい言葉を用いて説明することができる。</p> <p>A：授業内で説明したアカデミックライティングのルールにある程度則ってレポートを作成している。レポートを発表する際に、ある程度分かりやすい言葉を用いて説明することができる。</p> <p>【高田】</p> <p>S：出席状況がよく、これまでの学修や今後の進路を踏まえて、自身の関心にある分野について主体的に学ぶことができる。自分が学びたい分野の論文を調べ、まとめ、わかりやすく伝えることができる。</p> <p>A：出席状況がよく、これまでの学修や今後の進路を踏まえて、自身の関心にある分野について学ぶことができる。自分が学びたい分野の論文を調べ、まとめ、伝えることができる。</p>	<p>【長】</p> <p>B：授業内で説明したアカデミックライティングのルールに則ってレポートを作成している。レポートを発表する際に、自身の言葉を用いて説明することができる。</p> <p>C：授業内で説明したアカデミックライティングのルールに則ってることができていない箇所がみられるレポートを作成している。レポートを発表する際に、自身の言葉を用いて説明することができる。</p> <p>【高田】</p> <p>B：これまでの学修や今後の進路を踏まえて、自身の関心にある分野について学ぼうとしている。自分が学びたい分野の論文を調べ、まとめることができる。</p> <p>C：これまでの学修や今後の進路を踏まえて、自身の関心にある分野について学ぼうとしている。自分が学びたい分野の論文を調べることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」卒業研究にむけての見通し(高田)	講義 DVD視聴	本講義の内容について理解し、学修シートに自分の学修課題を記入することができる	予習：シラバスを読み、卒論というものについて調べる 復習：卒業生の卒論について調べ概要集を読む	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	論文を探す(高田)	講義 演習 個人ワーク	卒論の内容や卒業生の卒論についての考察を学修シートに書くことができる	予習：卒業生の卒論の概要集を読み、自分の読みたい論文を決めておく 復習：卒業生の卒論について読んだ感想を書く	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	論文を読む①(高田)	講義 演習 小テスト(google forms)を利用しフィードバック)	卒論の書き方について理解したことを学修シートに書くことができる	予習：卒業生の卒論を読み、卒論の書き方について考察してくる 復習：卒論の書き方について理解したことを学修シートに書く読んだ感想を書く	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	論文交流①(高田)	講義 演習 レポート(google classroom)	卒論のテーマの決め方を理解し、自分のテーマを考えることができる	予習：卒論のテーマの設定の仕方を調べてくる 復習：卒論のテーマを考え、学修シートに書く	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	論文を読む②(高田)	講義 演習 個人ワーク	研究の背景と目的の書き方を理解し、自分ならどう書くかを考えるか考え、学修シートに書くことができる	予習：研究の背景と目的について、調べてくる 復習：研究の背景と目的について、自分なりに学修シートに書く	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	論文交流②(高田)	・講義 ・演習	・卒論における先行研究の意義を理解し、自分のテーマに沿った先行研究を探すことができる。	予習：各自の興味あるキーワードを複数、まとめておく。 復習：論文検索の仕方を復習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	論文プレゼン(高田)	・演習	・卒論テーマとして考えられる先行研究を検索し、その論文を読むことができる。	予習：興味のある論文を検索する。 復習：レビュー用の論文を読み、概略をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	アカデミックライティングの基礎①(長)	・演習 ・個人ワーク	アカデミックライティングの基礎を知ることができる。	予習：配布する資料を読む。 復習：振り返り用PCRシートに記入する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	アカデミックライティングの基礎② (長)	・演習 ・個人ワーク	アカデミックライティングの基礎を知ることができる。	予習：配信される資料を読む。 復習：振り返り用PCRシートに記入する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	レポート作成① (長)	・講義 ・個人ワーク	レポートのテーマを決め、レポートの大きな流れを構成する。	予習：テーマ決めをする。 復習：授業時に指導をうけた箇所を修正・加筆する	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	レポート作成② (長)	・講義 ・個人ワーク	レポート作成に用いる論文を整理することができる	予習：レポート作成に用いる論文を調べてくる。 復習：授業時に指導をうけた箇所を修正・加筆する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	レポート作成③ 発表資料作り (長)	・講義 ・個人ワーク	アカデミックライティングのルールを確認しながら、レポートを作成することができる。	予習：レポート作成のうち、指示された箇所まで仕上げる。 復習：授業時に指導をうけた箇所を修正・加筆する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	グループ発表 (長)	・講義 ・グループワーク	作成したレポートを発表し、グループでの質疑応答に答えることができる。	予習：発表の準備をする。 復習：グループのメンバーから指摘された箇所を修正・加筆する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	グループ発表 (まとめ)	・講義 ・グループワーク	グループ外のメンバーのレポートも読み、自身のレポートを振り返ることができる。	予習：Google Classroomで共有されたグループでないメンバーのレポートを読む。 復習：自身のレポートを振り返るためのPCRシートを完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	オンデマンド：内定者の話 (長)	・動画視聴	動画を視聴し、学んだことや今後の活動に生かせることをまとめる。	予習：内定者が事前に作成する資料を閲覧する。 復習：内定者に質問したい内容を考え、Google Formsに記入する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力